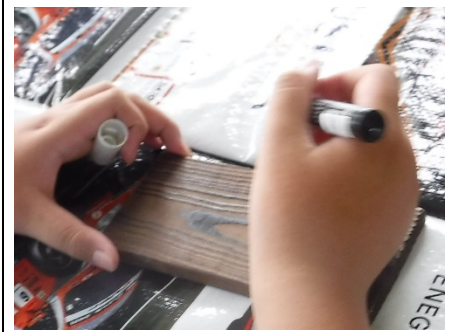


クラフトプログラム「焼き板づくり」



対 象	小学生以上	人 数	150 名程度まで 1グループ8名程度×最大17グループ
所要時間	1～1.5 時間程度	天 候	雨天可（雨天のみの実施も可）
概 要	杉の板をガスバーナーで焼き、ススを落とし、絵具やマーカー等で自由にデザインを描きます。ウェルカムボードやお部屋のインテリアなど、使い方は作り次第。手作りの喜びを感じながら完成させた世界に一つだけの作品は、ふれあいの村での活動の思い出になるでしょう。		
料 金	1セットあたり330円 ※必ず最新の料金をご確認ください。		
活動場所	前半（バーナーでの焼き付け作業～スス落とし）・・・炊事場〔火を使うため〕 後半（デザイン決定～絵付け～完成）・・・・・・・・・・工作棟・炊事工作棟工作室など		
用 具	<p>個人での持参品</p> <p><input type="checkbox"/> 軍手（野外炊事用と共用でもOK。綿100%のものが望ましい）</p> <p><input type="checkbox"/> マジック類（ポスカやペイントマーカーなどの顔料インクのもの） <input type="checkbox"/> 新聞紙</p> <p>団体での持参品</p> <p><input type="checkbox"/> 救急用品 <input type="checkbox"/> マジック類（個人で用意をしない場合）</p> <p><input type="checkbox"/> 新聞紙（個人で用意をしない場合。※他に団体として予備も必要）</p> <p><input type="checkbox"/> ボンド（作品装飾用に小枝や木の実などを取り付ける場合）</p> <p><input type="checkbox"/> 飾り紐やヒートン（作品を壁や扉などに掛けられるようにする場合）</p> <p>ふれあいの村での準備品</p> <p><input type="checkbox"/> 焼き板セット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 杉板 ・ ガスバーナー〔最大17セット〕 ・ スス落とし用のタワシ、小布 <p><input type="checkbox"/> 火ばさみ（炊事場に用意されているもの。ガスバーナー1つにつき、1個使用します）</p> <p>※【有料貸出】絵付け用ペイントマーカー〔最大10セット〕</p> <p>※【有料販売】ボンド</p>		
当日までの準備	<p>プログラム実施に向けて</p> <p><input type="checkbox"/> 活動場所の手配</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動施設は確保できていますか？（特に雨天プログラムとして実施する場合） <p><input type="checkbox"/> 準備品の申込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 焼き板セットの申込みはできていますか？ ・ 持参品の用意や周知はできていますか？ ・ マジックは持参されますか、それとも貸出申込み（有料）をされますか？ <p><input type="checkbox"/> 引率者間でのプログラム運営方法の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引率者間での役割は決まっていますか？ ・ 雨天プログラムの場合、天候判断のルールは決まっていますか？ 		

クラフトプログラム「焼き板づくり」

	進 行	備 考
当日の流れ	<p>①実施準備</p> <ul style="list-style-type: none"> □ふれあいの村管理棟事務所での必要物品の受け取り □個人での持参品、団体での持参品の準備 <p>②集合・全体説明</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 全体集合～全体に対する活動の説明 2) ガスバーナーの使い方、安全についての確認 3) 用具などの配布 4) 作業準備 <p>③作業開始</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 杉板をガスバーナーで焼く（炊事場を使用） <ul style="list-style-type: none"> ▶杉板の表面と裏面だけでなく、上下左右の4面もしっかりと焼く。杉板に火が付いたとしても、バーナーから外し、吹き消せば問題はない。 2) 焼き終わった杉板のススを落とす <ul style="list-style-type: none"> ▶スス落とし用のタワシでこすり落とす ▶スス落とし用の小布で磨き落とす 3) 工作棟・炊事工作棟工作室などに移動し、絵付け作業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ▶汚れ防止の為、テーブルや床面に新聞紙を敷く ▶マジック類で絵付けを行う <p>④完成</p> <p>⑤後片付け</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 炊事場 2) 工作棟・炊事工作棟工作室など 3) 貸出備品類の返却 	<p>⇒雨天用プログラムとして検討をされる場合は実施の最終判断をご連絡ください。</p> <p>⇒ご希望があれば、ふれあいの村スタッフより「全体説明」ならびに「プログラム導入部分の進行補助（前半20分～30分程度）」を担当させていただきます。</p> <p>⇒指導上の留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ※軍手の着用、炊事場の火ばさみの使用を徹底する。 ※ガスバーナーへの着火やその使用にあたっては、必ず引率者の目が届く範囲内で作業を行う。 ※作業エリアを明確に分ける。 <ul style="list-style-type: none"> ・ガスバーナーの使用場所 ・他メンバーの待機場所 ・スス落としの場所 ※1グループで1つのバーナーを順番に使うため、人の流れをスムーズに流す。 ※杉板の表面をタワシなどでこすり落とす場合は、木目に添ってこすり落とすとよい。

その他	<p><ガスバーナーの使用方法について></p>  <ol style="list-style-type: none"> ①点火 アの部分のネジを反時計回りに回す ②着火 イの部分にチャッカマンなどで点火 青白いガスの炎が勢いよくでる ③消火 アの部分のネジを時計回りに回す <p>！注意！○印の中は高温になるので触らない</p>	<p><杉板の焼き付けについて></p>  <ol style="list-style-type: none"> ①ガスバーナーが重いと感じる方は、必ず両手で持つようにする ②板をひっくり返す時は、火ばさみを使う ③焼き残しがなく、焼きすぎくらいまで焼く (磨いた時に艶がでるため)
-----	--	--